

【FKS/RC データ連携 プロパティ変換設定】

- ・IFC出力して、FKS/RCで取り込みする
- ・FKSLINKで出力して、FKS/RCで取り込みする

2パターンありますが、FKSLINKの場合でもIFC形式での連携をしています。
FKSLINKの対応バージョンはREVIT2022 ARCHICAD25ですので、これ以外であればIFCでの連携をお願いします。

IFC経由の利点は、IFCビューアーソフト(SOLIBRI、BIM-VISION)にて、
出力されたデータを確認でき、情報が欠落されていたらBIMツール側にて確認する手順がとれます。

FKSLINKは柱梁などの構造データのみ出力するので、統合モデルの場合にファイルサイズを小さくできます。
ビューアーにて鉄筋項目などが出力されているかの確認ができません。

プロパティ変換設定 → 部位記号や鉄筋情報の連携に使用するファイルです
IFC、FKSLINKともに使用します

出力される記号や鉄筋情報の項目名は、使用するBIMツール側で自由設定できますので
FKSに連携するためにプロパティ変換設定でマッピングが必須です

項目名	プロパティ1	プロパティ2	プロパティ3	プロパティ4	プロパティ5	プロパティ6	プロパティ7	プロパティ8	プロパティ9	プロパティ10
記号										
コンクリート強度										
型枠種別										
X方向ベース筋①材種										
X方向ベース筋①径(mm)										
X方向ベース筋②材種										
X方向ベース筋②径(mm)										
X方向ベース筋本数										
X方向ベース筋ピッチ(mm)										
Y方向ベース筋①材種										
Y方向ベース筋①径(mm)										
Y方向ベース筋②材種										
Y方向ベース筋②径(mm)										
Y方向ベース筋本数										
Y方向ベース筋ピッチ(mm)										
斜筋材種										
斜筋径(mm)										
斜筋本数										
X方向ハカマ筋1材種										

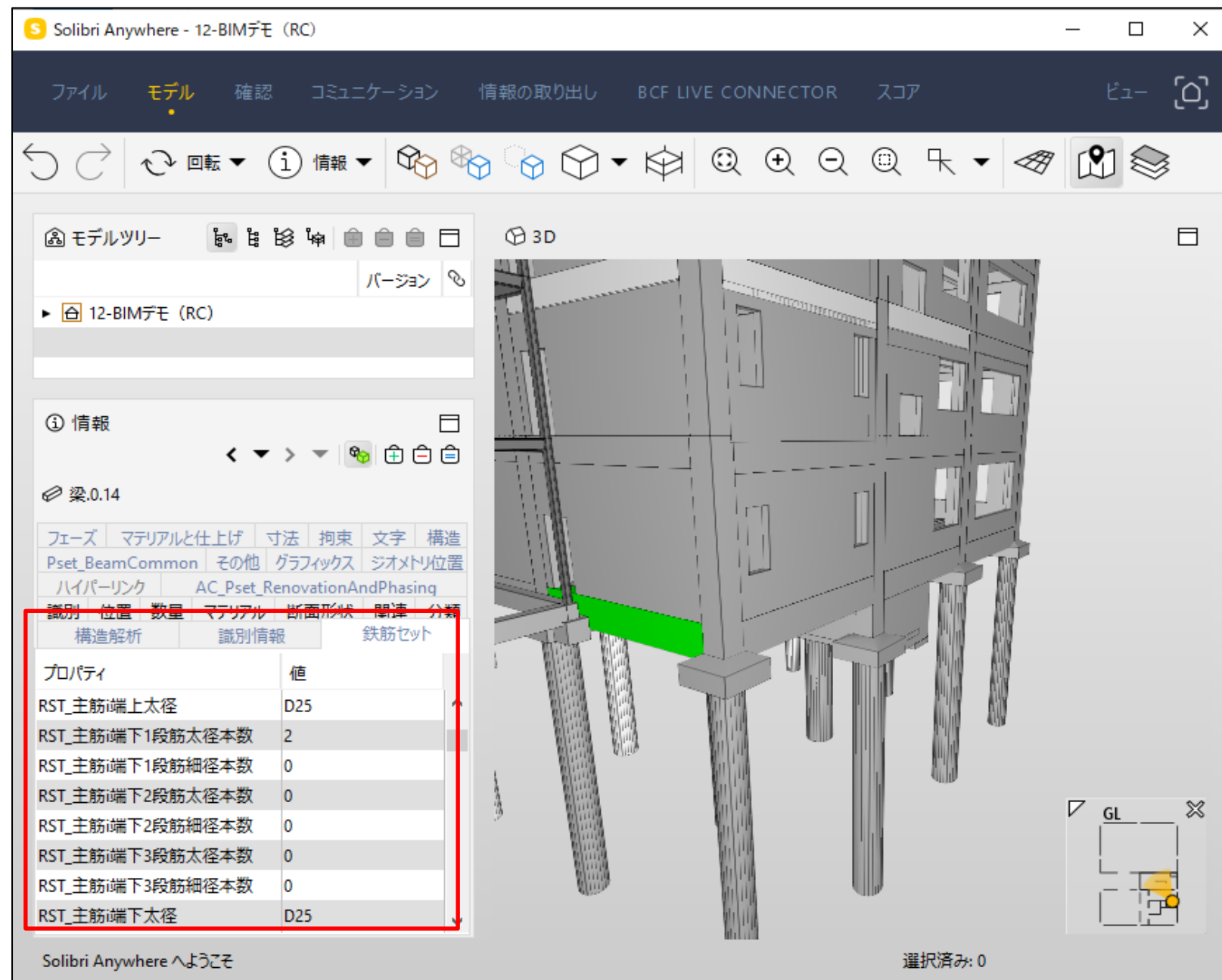
IFC設定ファイル: ARCHICADPROPERTY

C:\FKS_SS_2_CLIENT\RC_SS_CLIENT\R110_¥BIM¥INI¥ARCHICADPROPERTY

更新 閉じる 参照

1. SOLIBRIにて各部材、鉄筋情報などが出力されているか確認する

Solibri Anywhere IFCビューアソフト(無償)

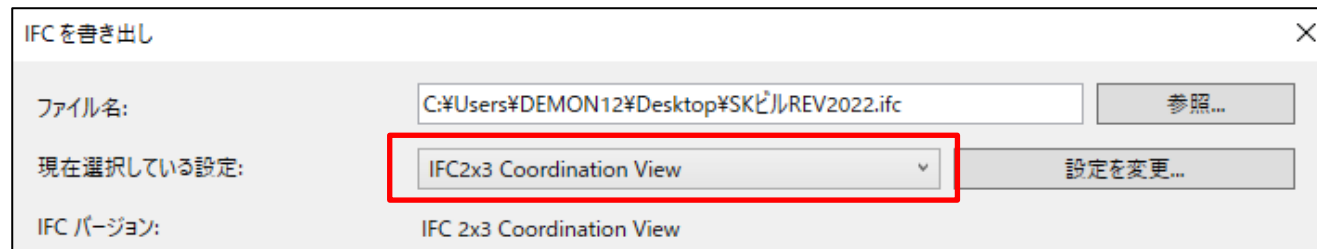


鉄筋項目が出力されているか確認します

タブの内容はBIMツール側の入力内容により変わります

FKSLINKで連携する場合でも、IFC出力して出力されている項目名を確認してください

<REVITでのIFC出力時の注意>



IFC を書き出し

ファイル名: C:\Users\DEMON12\Desktop\SKビルREV2022.ifc 参照...

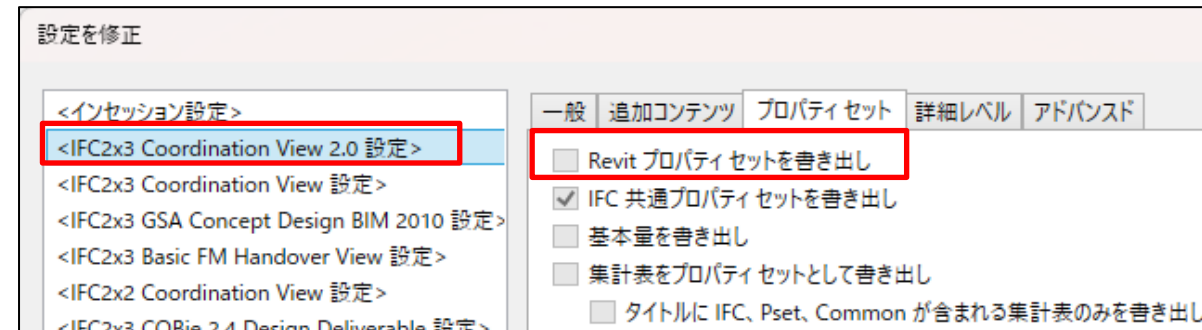
現在選択している設定: IFC2x3 Coordination View 設定を変更...

IFC バージョン: IFC 2x3 Coordination View

IFC2X3 Coordination View を選択します

REVITプロパティが出力されます

IFC2X3 Coordination View 2.0 の場合は
プロパティ項目は出力されない設定になっています。



設定を修正

<インセッション設定>

<IFC2x3 Coordination View 2.0 設定>

<IFC2x3 Coordination View 設定>

<IFC2x3 GSA Concept Design BIM 2010 設定>

<IFC2x3 Basic FM Handover View 設定>

<IFC2x2 Coordination View 設定>

<IFC2x3 COBie 2.4 Design Deliverable 設定>

一般 追加コンテンツ プロパティセット 詳細レベル アドバンスド

☐ Revit プロパティ セットを書き出し

☒ IFC 共通プロパティ セットを書き出し

☐ 基本量を書き出し

☐ 集計表をプロパティ セットとして書き出し

☐ タイトルに IFC、Pset、Common が含まれる集計表のみを書き出し

REVITで入力していても、鉄筋項目などREVIT固有項目がIFCに出力されません。

2. プロパティ変換設定

プロパティ変換設定						
独立基礎 布基礎 柱 梁 床 壁 階段 パラペット 杭 部屋情報 部位情報 部材仕様 間仕切 建具・開口						
項目名	プロパティ1	プロパティ2	プロパティ3	プロパティ4	プロパティ5	プロパティ6
記号	RST_柱符号					
コンクリート強度	構造材料					
柱頭主筋1材種	RST_主筋種別X					
柱頭主筋1径	RST_柱頭主筋太径					
柱頭主筋1本数	RST_柱頭主筋X1段太径本数					
柱頭主筋2材種	RST_主筋種別X					
柱頭主筋2径	RST_柱頭主筋細径					
柱頭主筋2本数	RST_柱頭主筋X1段細径本数					
柱頭主筋3材種	RST_主筋種別Y					
柱頭主筋3径	RST_柱頭主筋太径					
柱頭主筋3本数	RST_柱頭主筋Y1段太径本数					
柱頭主筋4材種	柱頭主筋4材種=RST_主筋種別Y					
柱頭主筋4径	RST_柱頭主筋細径					
柱頭主筋4本数	RST_柱頭主筋Y1段細径本数					
柱脚主筋1材種						
柱脚主筋1径	RST_柱脚主筋太径					
柱脚主筋1本数	RST_柱脚主筋X1段太径本数					

手入力する または SOLIBRIを開きコピペで貼り付け

鉄筋連携不要の場合、以下のように記号は最低限マッピングしてください。

独立基礎	記号		
布基礎	記号	断面寸法	高さ
柱	記号	断面寸法X	断面寸法Y
梁	記号	梁巾	梁成
床	記号		
壁	記号		
パラペット	記号		
(階段は連携していません)			

このファイルの場所 C:\FKS_SS_2_CLIENT\RC_SS_CLIENT\R110_¥BIM¥INI

ARCHICADPROPERTY.ini
BIM.ini
COMMONPROPERTY.ini
FKS.ini
GLOBEPROPERTY.ini
REVITPROPERTY(2023).ini
REVITPROPERTY(A社用).ini
REVITPROPERTY(B社用).ini
REVITPROPERTY.ini

変換設定ファイル(INIファイル)を手動でコピーして、別パターンで登録しておくこともできます。
デフォルト は REVITPROPERTY.ini ARCHICADPROPERTY.ini

プロパティ変換設定ファイルを指定して連携します

IFC設定ファイル： REVITPROPERTY ▾

C:\FKS_SS_2_CLIENT\RC_SS_CLIENT\R110_¥BIM¥INI¥REVITPROPERTY.ini

更新

参照

閉じる

IFCにセットされた項目を、FKSの入力項目にマッピングします

項目名:FKSの鉄筋などの項目(変更不可)
プロパティ1:IFCに出力されたプロパティ名

プロパティ1に入力します。

プロパティ2, 3は入力不要です

連携時にプロパティ1の項目を検索して、FKSのリストにセットします。
検索しても見つからなかった場合に、プロパティ2の項目を検索します。

各リストの連携項目は各シートを確認してください

<プロパティ変換設定の項目説明>

①独立基礎

1	記号	
2	コンクリート強度	未使用
3	型枠種別	未使用
4	X方向ベース筋①材種	
5	X方向ベース筋①径(mm)	
6	X方向ベース筋②材種	
7	X方向ベース筋②径(mm)	
8	X方向ベース筋本数	
9	X方向ベース筋ピッチ(mm)	
10	Y方向ベース筋①材種	
11	Y方向ベース筋①径(mm)	
12	Y方向ベース筋②材種	
13	Y方向ベース筋②径(mm)	
14	Y方向ベース筋本数	
15	Y方向ベース筋ピッチ(mm)	
16	斜筋材種	
17	斜筋径(mm)	
18	斜筋本数	
19	X方向ハカマ筋1材種	
20	X方向ハカマ筋1径(mm)	
21	X方向ハカマ筋1本数	
22	X方向ハカマ筋1ピッチ(mm)	
23	Y方向ハカマ筋2材種	
24	Y方向ハカマ筋2径(mm)	
25	Y方向ハカマ筋2本数	
26	Y方向ハカマ筋2ピッチ(mm)	
27	横筋材種	
28	横筋径(mm)	
29	横筋本数	
30	横筋ピッチ(mm)	
31	巾止筋材種	
32	巾止筋径(mm)	
33	巾止筋本数	
34	巾止筋ピッチ(mm)	

記号	階		コン 強度	型 枠	底 型 枠	形 状	断面寸法			ベース筋												ハカマ筋								つなぎ筋				巾止筋																
	S	E					短辺1	長辺1	高さ 1	短辺1					長辺1					斜筋1			立上長さ		短辺方向				曲げ長さ		杭高さ	一 立 上	材 種	径	ピッチ	本 数	材 種	径	ピッチ	本 数										
										材 種	径	材 種	径	ピッチ	本 数	材 種	径	材 種	径	ピッチ	本 数	材 種	径	本 数	径倍	長さ	材 種	径	ピッチ	本 数											径倍	長さ								
メモ			集 計 部 位	記 号 印 刷			短辺2	長辺2	高さ 2	短辺2					長辺2					斜筋2			外周部余長		長辺方向																									
										材 種	径	材 種	径	ピッチ	本 数	材 種	径	材 種	径	ピッチ	本 数	材 種	径	本 数	径倍	長さ	材 種	径	ピッチ	本 数																				
1												11			13	14	15			5			7	8	9			17	18					24	25	26							28	30	29			32	34	33
																																	20	21	22															

・断面寸法はIFC内部寸法から自動セットされます。

＜プロパティ変換設定の項目説明＞

②連続基礎

1	記号	
2	コンクリート強度	未使用
3	型枠種別	未使用
4	主筋方向ベース筋1材種	
5	主筋方向ベース筋1径(mm)	
6	主筋方向ベース筋1本数	
7	主筋方向ベース筋1ピッチ(mm)	
8	配力筋方向ベース筋2材種	
9	配力筋方向ベース筋2径(mm)	
10	配力筋方向ベース筋2本数	
11	配力筋方向ベース筋2ピッチ(mm)	
12	主筋方向ハカマ筋1材種	
13	主筋方向ハカマ筋1径(mm)	
14	主筋方向ハカマ筋1本数	
15	主筋方向ハカマ筋1ピッチ(mm)	
16	配力筋方向ハカマ筋2材種	
17	配力筋方向ハカマ筋2径(mm)	
18	配力筋方向ハカマ筋2本数	
19	配力筋方向ハカマ筋2ピッチ(mm)	
20	横筋材種	未使用
21	横筋径(mm)	未使用
22	横筋本数	未使用
23	横筋ピッチ(mm)	未使用
24	巾止筋材種	未使用
25	巾止筋径(mm)	未使用
26	巾止筋本数	未使用
27	巾止筋ピッチ(mm)	未使用
28	短辺寸法	
29	高さ	
30	主筋方向ベース筋径2(mm)	
31	配力筋方向ベース筋径2(mm)	

記号	階		コン 強度	型 枠	底 型 枠	形 状	断面寸法			ベース筋													ハカマ筋						
	S	E					短辺1	短辺2	高さ 1	短辺方向					長辺方向					立上長さ			短辺方向				曲げ長さ		
										材種	径	材種	径	ピッチ	本数	材種	径	材種	径	ピッチ	本数	径倍	長さ	材種	径	ピッチ	本数	径倍	長さ
メモ			集計 部位	記号 印刷	高さ2	高さ3	高さ 4						材種	径	材種	径	ピッチ	本数			長辺方向				定着長さ				
								材種	径	ピッチ	本数	径倍							長さ	材種	径	ピッチ	本数	径倍	長さ				
1						28								5	30	7	6									9	31	11	10
						29														17	19	18							

・短辺寸法、高さが未設定の場合、断面寸法はIFC内部寸法から自動セットされます。

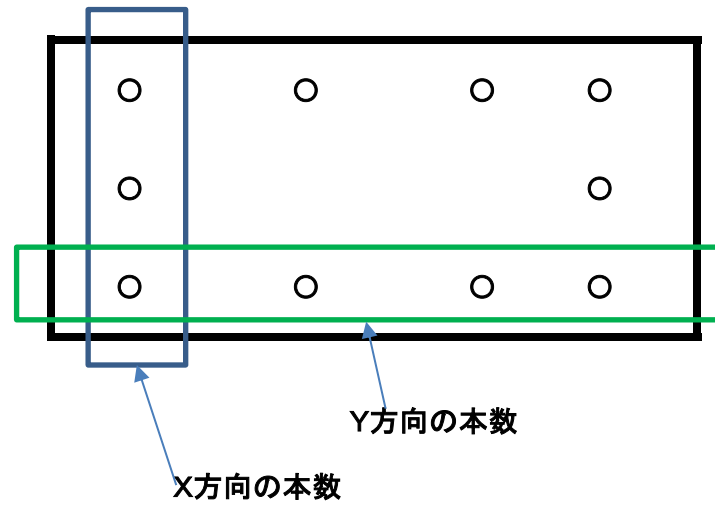
③柱

31	フープ筋一般Y方向中子本数	
32	フープ筋仕口材種	
33	フープ筋仕口径	
34	フープ筋仕口ピッチ(mm)	
35	フープ筋仕口X方向中子本数	
36	フープ筋仕口Y方向中子本数	
37	ダイヤフープ材種	未使用
38	ダイヤフープ径	未使用
39	ダイヤフープピッチ(mm)	未使用
40	ダイヤフープX方向本数	未使用
41	ダイヤフープY方向本数	未使用
42	補強筋1材種	
43	補強筋1径	
44	補強筋1長さ	
45	補強筋1本数	
46	補強筋2材種	
47	補強筋2径	
48	補強筋2長さ	
49	補強筋2本数	
50	属性	※2
51	断面寸法X	
52	断面寸法Y	
53	芯鉄筋材種	
54	芯鉄筋径	
55	芯鉄筋総本数	
56	芯鉄筋X本数	
57	芯鉄筋Y本数	

- ・断面寸法XYが未設定の場合、IFC内部寸法から自動セットされます。
- ・フープ中子本数により、タイプをセットします。タイプのパターンがない場合は本数をセットします。
- ・属性はSかSRCを判断します。S_またはCFT_の値がある場合はS、SRC_ならSRCで取り込みます。柱種別

※1 主筋のIFC入力について

“X方向の本数”と“Y方向の本数”で定義されている場合を考慮した取込方法にしています。



IFC

柱頭_X方向1段主筋本数 3

柱頭_Y方向1段主筋本数 4



柱リストの本数

$(X+Y) * 2 - 4$

$(3+4) * 2 - 4 = 10$

項目名	プロパティ1
記号	符号
コンクリート強度	
柱頭主筋1材種	
柱頭主筋1径	柱頭_主筋径
柱頭主筋1本数	柱頭_X方向1段主筋本数
柱頭主筋2材種	
柱頭主筋2径	柱頭_副主筋径
柱頭主筋2本数	柱頭_X方向1段副主筋本数
柱頭主筋3材種	
柱頭主筋3径	
柱頭主筋3本数	柱頭_Y方向1段主筋本数
柱頭主筋4材種	
柱頭主筋4径	
柱頭主筋4本数	柱頭_Y方向1段副主筋本数
柱脚主筋1材種	
柱脚主筋1径	柱脚_主筋径
柱脚主筋1本数	柱脚_X方向1段主筋本数
柱脚主筋2材種	
柱脚主筋2径	柱脚_副主筋径
柱脚主筋2本数	柱脚_X方向1段副主筋本数
柱脚主筋3材種	
柱脚主筋3径	
柱脚主筋3本数	柱脚_Y方向1段主筋本数
柱脚主筋4材種	
柱脚主筋4径	
柱脚主筋4本数	柱脚_Y方向1段副主筋本数

記号	階		コンクリート強度	型枠	柱種別	形状	断面寸法		主筋①			主筋②		
	S	E					X方向	Y方向	柱脚	柱頭		柱脚	柱頭	
メモ			集計部位	記号印刷	トリプル強度	主筋タイプ			材種	径	本数	材種	径	本数

・柱頭と柱脚が同じ場合は、柱頭のみセットします。

・主筋径が2種類ある場合は、
柱頭主筋2と4を同様に使用して、主筋②にセットします。

・総本数しかIFCに出力されていない場合
柱頭_X方向1段主筋本数 10
柱頭_Y方向1段主筋本数 0
のように、どちらかの本数を0でIFC出力することで10本で取り込みします。

<プロパティ変換設定の項目説明>

④梁

1	記号		31	中央主筋①:上端2段目		61	終端主筋②:上端3段目	
2	コンクリート強度	未使用	32	中央主筋①:上端3段目		62	終端主筋②:下端3段目	
3	主筋①材種		33	中央主筋①:下端3段目		63	終端主筋②:下端2段目	
4	主筋①径(mm)		34	中央主筋①:下端2段目		64	終端主筋②:下端1段目	
5	主筋②材種		35	中央主筋①:下端1段目		65	終端スターラップ材種	
6	主筋②径(mm)		36	中央主筋②:上端1段目		66	終端スターラップ径(mm)	
7	始端主筋①:上端1段目		37	中央主筋②:上端2段目		67	終端スターラップ:本数	
8	始端主筋①:上端2段目		38	中央主筋②:上端3段目		68	終端スターラップ:ピッチ(mm)	
9	始端主筋①:上端3段目		39	中央主筋②:下端3段目		69	終端腹筋材種	未使用
10	始端主筋①:下端3段目		40	中央主筋②:下端2段目		70	終端腹筋径(mm)	未使用
11	始端主筋①:下端2段目		41	中央主筋②:下端1段目		71	終端腹筋本数	未使用
12	始端主筋①:下端1段目		42	中央スターラップ材種		72	終端巾止筋材種	未使用
13	始端主筋②:上端1段目		43	中央スターラップ径(mm)		73	終端巾止筋径(mm)	未使用
14	始端主筋②:上端2段目		44	中央スターラップ:本数		74	終端巾止筋本数	未使用
15	始端主筋②:上端3段目		45	中央スターラップ:ピッチ(mm)		75	終端巾止筋ピッチ(mm)	未使用
16	始端主筋②:下端3段目		46	中央腹筋材種		76	属性	
17	始端主筋②:下端2段目		47	中央腹筋径(mm)		77	梁巾	
18	始端主筋②:下端1段目		48	中央腹筋本数		78	梁成	
19	始端スターラップ材種		49	中央巾止筋材種				
20	始端スターラップ径(mm)		50	中央巾止筋径(mm)				
21	始端スターラップ:本数		51	中央巾止筋本数				
22	始端スターラップ:ピッチ(mm)		52	中央巾止筋ピッチ(mm)				
23	始端腹筋材種	未使用	53	終端主筋①:上端1段目				
24	始端腹筋径(mm)	未使用	54	終端主筋①:上端2段目				
25	始端腹筋本数	未使用	55	終端主筋①:上端3段目				
26	始端巾止筋材種	未使用	56	終端主筋①:下端3段目				
27	始端巾止筋径(mm)	未使用	57	終端主筋①:下端2段目				
28	始端巾止筋本数	未使用	58	終端主筋①:下端1段目				
29	始端巾止筋ピッチ(mm)	未使用	59	終端主筋②:上端1段目				
30	中央主筋①:上端1段目		60	終端主筋②:上端2段目				

部 位	記 号	階		J 強度	型 枠	梁 種 別	断面寸法							主筋1		主筋1外端					主筋1中央					主筋1内端					スターラップ(外周)外端					スターラップ(外周)中央					スターラップ(外周)内端					腰筋1			巾止筋								
		梁巾	梁成				ハチ 長	ハチ 巾	ハチ 成	形状	片側	材 種	径	上端		下端		上端		下端		上端		下端		材 種	径	形式	本 数	ピ ッチ	長 さ	溶 接 個 所	材 種	径	形式	本 数	ピ ッチ	長 さ	溶 接 個 所	材 種	径	形式	本 数	材 種	径	本 数	材 種	径	本 数	ピ ッチ							
														1段	2段	3段	3段	2段	1段	1段	2段	3段	3段	2段	1段																										1段	2段	3段	3段	2段	1段	1段
メモ		集 計 部 位	記 号 印 刷	ト ワ 強度	ト ワ 厚								主筋2		主筋2外端					主筋2中央					主筋2内端					スターラップ(内周)外端					スターラップ(内周)中央					スターラップ(内周)内端					腰筋2												
						材 種	径	1段	2段	3段	3段	2段	1段	1段	2段	3段	3段	2段	1段	1段	2段	3段	3段	2段	1段	1段	2段	3段	3段	2段	1段	材 種	径	長 さ		材 種	径	長 さ		材 種	径	長 さ		材 種	径	本 数											
1															4	7	8	9	10	11	12	30	31	32	33	34	35	53	54	55	56	57	58	20		21	22			43		44	45			66		67	68			47	48		50	51	52
															6	13	14	15	16	17	18	36	37	38	39	40	41	59	60	61	62	63	64							46		69		70			49										

- ・部位は記号の文字から判断してセットします。
- ・梁巾梁成が未設定の場合、IFC内部寸法から自動セットされます。
- ・属性はSかSRCを判断します。S_の値がある場合はS、SRC_ならSRCで取り込みます。梁種別

- ・部位は記号の文字から判断してセットします。FSが付いていれば礎版になります。
- ・厚はIFC内部寸法から自動セットされます。
- ・属性に値がある場合は先端厚にセットします。
- ・土間フラグの値がTRUEの場合、集計部位にDをセットします。
- ・ボイドリストは未対応です。

<プロパティ変換設定の項目説明>

⑥壁

1	記号	
2	コンクリート強度	未使用
3	型枠種別(前面)	未使用
4	型枠種別(背面)	未使用
5	配筋タイプ	
6	前面縦筋①材種	
7	前面縦筋①径(mm)	
8	前面縦筋②材種	
9	前面縦筋②径(mm)	
10	前面縦筋ピッチ(mm)	
11	前面横筋①材種	
12	前面横筋①径(mm)	
13	前面横筋②材種	
14	前面横筋②径(mm)	
15	前面横筋ピッチ(mm)	
16	背面縦筋①材種	
17	背面縦筋①径(mm)	
18	背面縦筋②材種	
19	背面縦筋②径(mm)	
20	背面縦筋ピッチ(mm)	
21	背面横筋①材種	
22	背面横筋①径(mm)	
23	背面横筋②材種	
24	背面横筋②径(mm)	
25	背面横筋ピッチ(mm)	
26	巾止筋材種	
27	巾止筋径(mm)	
28	巾止筋ピッチ(mm)	
29	開口補強筋縦材種	
30	開口補強筋縦径	

31	開口補強筋縦本数	
32	開口補強筋横材種	
33	開口補強筋横径	
34	開口補強筋横本数	
35	開口補強筋斜材種	
36	開口補強筋斜径	
37	開口補強筋斜本数	
38	擁壁前面縦筋①材種	未使用
39	擁壁前面縦筋①径(mm)	未使用
40	擁壁前面縦筋②材種	未使用
41	擁壁前面縦筋②径(mm)	未使用
42	擁壁前面縦筋ピッチ(mm)	未使用
43	擁壁前面横筋①材種	未使用
44	擁壁前面横筋①径(mm)	未使用
45	擁壁前面横筋②材種	未使用
46	擁壁前面横筋②径(mm)	未使用
47	擁壁前面横筋ピッチ(mm)	未使用
48	擁壁背面縦筋①材種	未使用
49	擁壁背面縦筋①径(mm)	未使用
50	擁壁背面縦筋②材種	未使用
51	擁壁背面縦筋②径(mm)	未使用
52	擁壁背面縦筋ピッチ(mm)	未使用
53	擁壁背面横筋①材種	未使用
54	擁壁背面横筋①径(mm)	未使用
55	擁壁背面横筋②材種	未使用
56	擁壁背面横筋②径(mm)	未使用
57	擁壁背面横筋ピッチ(mm)	未使用
58	属性	未使用

記号	階		コン 強度	型 枠	壁 種別	厚	S W T	縦主筋					横主筋					巾止筋			コーナー補強筋									開口補強筋1											
	S	E						外側					外側					材 種	径	ピッチ	上部			下部			交差部			縦			横			斜					
								材 種	径	材 種	径	ピッチ	材 種	径	材 種	径	ピッチ				材 種	径	ピッチ	材 種	径	本 数	材 種	径	本 数	材 種	径	本 数	材 種	径	本 数	材 種	径	本 数	材 種	径	本 数
メモ			集 計 部 位	記 号 印 刷	R C 部 強 度	ハーフ PC 厚	耐力 壁	内側					内側														開口補強筋2														
								材 種	径	材 種	径	ピッチ	材 種	径	材 種	径	ピッチ										縦			横			斜								
																		材 種	径	材 種	径	ピッチ	材 種	径	材 種	径	ピッチ	材 種	径	本 数	材 種	径	本 数	材 種	径	本 数	材 種	径	本 数	材 種	径
1									7		9	10		12		14	15		27	28										30	31		33	34		36	37				
									17		19	20		22		24	25																								

- ・厚はIFC内部寸法から自動セットされます。
- ・配筋タイプは値がシングル、ダブル、チドリの文字で判断してセットします。
- ・地下壁リストは未対応です。

<プロパティ変換設定の項目説明>

⑦パラペット

1	記号	
2	コンクリート強度	未使用
3	型枠種別(前面)	未使用
4	型枠種別(背面)	未使用
5	縦筋1_材種	
6	縦筋1_径	
7	縦筋1_ピッチ(mm)	
8	縦筋2_材種	未使用
9	縦筋2_径	未使用
10	縦筋2_ピッチ(mm)	未使用
11	横筋1_材種	
12	横筋1_径	
13	横筋1_ピッチ(mm)	
14	横筋2_材種	未使用
15	横筋2_径	未使用
16	横筋2_ピッチ(mm)	未使用
17	縦補強筋_材種	未使用
18	縦補強筋_径	未使用
19	縦補強筋_本数	未使用
20	横補強筋_材種	未使用
21	横補強筋_径	未使用
22	横補強筋_本数	未使用
23	アゴ補強筋1_材種	未使用
24	アゴ補強筋1_径	未使用
25	アゴ補強筋1_本数	未使用
26	アゴ補強筋2_材種	未使用
27	アゴ補強筋2_径	未使用
28	アゴ補強筋2_ピッチ(mm)	未使用

記号	階		コン 強度	型 枠	形 状	断面寸法				縦主筋					横主筋①				
	S	E				厚	高さ	ア ゴ 巾 ①	ア ゴ 高 ①	S W T	外側					材 種	径	本 数	ピ ッ チ
											材 種	径	材 種	径	ピ ッ チ				
メモ			集 計 部 位	記 号 印 刷			ア ゴ 巾 ②	ア ゴ 高 ②	縦 筋 指 示	内側					横主筋②				
										材 種	径	材 種	径	ピ ッ チ	材 種	径	本 数	ピ ッ チ	
1											6			7		12		13	

・厚と高さはIFC内部寸法から自動セットされます。アゴ寸法は認識しません。

<プロパティ変換設定の項目説明>

鉄筋材種の連携について

鉄筋材種(SD295Aなど)はFKS側の概要にて自動計算されるので、プロパティ変換設定には入力不要です。

入力して連携したい場合は、名称マスターに材種文字を入力しておきます。
IFCの材種の値と一致した場合に、その材種コードがセットされます。



材料名称	その他名称			
鉄筋設定				
鉄筋材種				
	コード	標準名称	名称	区分
☐	1			異形
☐	2			異形
☒	3	SD295A	SD295A	異形
☒	4	SD345	SD345	異形
☒	5	SD390	SD390	異形
☒	6		SBPDN	異形
☐	7			異形
☐	8			異形
☐	9	丸棒	丸棒	異形
☐	A			異形
☐	B			異形

マスター管理の名称マスターにて、

任意のコードにチェックつけ、IFCにセットされた文字(SBPDN)を入力します。

別モデルで“SBPDN”以外の文字がセットされていたら、
同様に別コードにその文字を入力しておきます。

IFCにはコードがありませんので、マスターに設定された文字と同じ場合、
そのコードをセットします。

ただし、“SD295A”も入力されているので、コード3もセットされてしまいます。

フープ筋	タイプ	材種	径	@	長さ	溶接箇所	X本数	Y本数
(一般部)	外周	6 SBPDN	13	100				
	中子							
(仕口部)	外周	6 SBPDN	13	100				
	中子							